

## ふるさと講座・自然系第3回目「冬の野鳥観察会」

### オジロワシ・オオワシを観察しよう！を実施しました。

2月28日（日）野付半島ネイチャーセンター長、藤井薫氏を講師に迎え、「冬の野鳥観察会」を実施しました。参加者は9名です。

根室市花咲港に希少種のチシマシギが渡来しているとのことで、花咲港 - 春国岱 - 風蓮湖と行程を変更しました。郷土資料館で、最近話題のハクトウワシとオジロワシ・オオワシの違いなどのレクチャーを受け出発しました。花咲港では、シノリガモなどの海ガモを観察し、ハマシギの中に紛れているチシマシギを観察することが出来ました。チシマシギは、滅多に見ることが出来ないもので、参加者を喜ばせました。風蓮湖では、オジロワシ・オオワシが推定で500～600羽見る事が出来、特にオオワシは2,000羽ぐらいしか生息していないので、その内の1割を見ていることになるそうです。急遽行程を変更しましたが、貴重なチシマシギ、お目当てのオジロワシ・オオワシを観察することが出来ました。



チシマシギ（右）ハマシギ（左）

藤井薫氏撮影

## 令和2年度特別展

### 「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」

幕末に西は宗谷・利尻・礼文、東は斜里・根室・国後・択捉と東西奥地の大場所をことごとくその手におさめ、松前第一の豪商と言われ、近代に入っても道内各地の開発に大きく貢献した藤野家の足跡を探ってみたいと思います。

期間：令和3年3月3日（水）～30日（火）

場所：別海町図書館エトランスホール



加賀家文書「絵本雑録記」より  
藤野家の船の図（幕末）

## 特別展開連講座の開催について

日時：令和3年3月14日（日）午前10時30分～11時30分

内容：「加賀家文書「絵本雑録記」に見る幕末の又十藤野家など」

場所：別海町郷土資料館

定員：10名（3月1日（月）～3月12日（金）までに電話・FAX・メールのいずれかでお名前・電話番号をご連絡ください。）

## この時期の郷土資料館

12月から2月にかけて、町内小学校3年生の団体来館が多くなります。社会科で「昔のくらしと道具」という授業に入るからです。実際に昔の道具を見るには、当館が最適で、資料も豊富に展示されています。また、炭アイロン・洗濯板・湯たんぽ・灯油ランプ・せんべい焼きなど、実際に道具使う体験も行っています。

今年度は、コロナウィルスの影響もあったようで、8校中4校の児童たちがにぎやかに来館してくれました。

また、今年度は、「加賀家文書」や「加賀伝蔵さんについて」など、郷土の先人の勉強のために来館される学校もありました。出前授業では、古代の別海町や火山灰などの地質観察や開拓時代の様子などに呼ばれました。

来年度も多くの児童生徒にふるさと別海を知っていただくよう努力したいと考えています。



別海町郷土資料館だより No.260

発行日 令和3年3月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

### 編集後記

今年度も残すところあと1ヶ月、コロナウィルスの影響は、大きく当館も例外ではありません。年間の入館者数が、前年度対比50%減となりました。終息を願いました、多くの人にご来館いただきたいと思います。我慢の時期が続きます。(K.I)